

長野大学紀要

第42巻第3号（通巻第150号）

長野大学

2021年3月

長野大学紀要

第42巻第3号（通巻第150号）

長野大学

2021年3月

目 次

<論 文>

- 多様な困難を抱える大学生を対象としたWellness Recovery Action Planの試み：6か月後調査
 ……片山 優美子・栗原 浩之・森田 靖子・森 恵美……………1
- 農福連携において長期にわたる雇用の現状と課題
 —農業者が障害者を直接雇用するケースから—
 ……合 田 盛 人……………11
- テナンシヨウ属の開花・結実・花粉媒介・種子散布—浅間山の事例
 ……前 田 夏 樹・高 橋 一 秋……………23

<調 査 報 告>

- 上田市における農福連携の現状と課題
 —就労継続支援B型事業所への調査から—
 ……合 田 盛 人……………59

<そ の 他>

- 本多静六と関連する長野県内の公園・温泉地・風景地の計画書の目録および現代的価値
 ……横 関 隆 登……………71

(資料)

- 本多静六口述『軽井沢遊園地設計方針』(明治四十四年十月三十日油屋旅館に於て)の現代語訳
 ……阿部菜々子・北條 千晴・半澤 成美・横関 隆登……………76

(資料)

本多静六口述『木曾風光調査概要』(大正二年前後)の現代語訳
……………竹内 梢・加藤 愛望・小林 来実・横関 隆登……………83

(資料)

本多静六著『隠れたる木曾の風景と利用策』(大正二年)の現代語訳
……………加藤 愛望・小林 来実・竹内 梢・横関 隆登……………91

(資料)

本多静六・上原敬二著『信州駒ヶ岳森林公園と菅の台避暑地計画案』(大正十二年五月十日赤穂町商工会発行)の現代語訳
……………齋藤 実咲・小池 成美・阿部菜々子・北條 千晴・横関 隆登……………99

(資料)

本多静六・池邊武人著『須坂町公園設計案』(大正十五年五月須坂町役場発行)の現代語訳
……………西村 奈穂・下條 仁嗣・藤原 優里・横関 隆登……………117

(資料)

本多静六・池邊武人著『小諸公園(懐古園)設計案』(大正十五年五月小諸町役場発行)の現代語訳
……………半澤 成美・西村 奈穂・横関 隆登……………125

(資料)

本多静六・森脇龍雄著『信州飯山城址公園改良案』(昭和二年六月飯山町役場発行)の現代語訳
……………太田 千乃・北原 穂香・渡邊ほのか・横関 隆登……………136

(資料)

本多静六・森脇龍雄著『信州山ノ内温泉風景利用策』(昭和二年七月長野電鉄株式会社発行)の現代語訳
……………下條 仁嗣・藤原 優里・太田 千乃・横関 隆登……………143

(資料)

本多静六・森脇龍雄著『天竜峡風景利用策』(昭和三年五月伊那電気鉄道株式会社発行)の現代語訳
……………北原 穂香・渡邊ほのか・齋藤 実咲・小池 成美・横関 隆登……………153

長野大学紀要編集規程

(名称および発行)

第1条 本誌を「長野大学紀要」(以下「本紀要」という。)と称し、年4回発行することを原則とする。

(目的)

第2条 長野大学において教員が行っている研究および本学で実施された共同研究や受託研究の成果を学内外に紹介し、長野大学の教育・研究活動の活性化に寄与することを目的とする。

(編集委員会)

第3条 長野大学図書館運営委員会のもとに、長野大学紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)を置く。編集委員会委員長は図書館運営委員会委員長が兼ねる。

2 本紀要の原稿の募集・編集は編集委員会が行う。

(投稿資格)

第4条 投稿できる者は原則として本学の専任教員、客員教員、名誉教授とする。ただし、本学の非常勤講師等も投稿することができる。

2 本学の教員と共同研究を行う者。

3 本学学生・研究生等は、投稿資格を有する教員等が共著者である場合は投稿を認める。

4 その他編集委員会が認めたもの。

(投稿原稿)

第5条 本紀要に掲載する原稿は他に未発表のものに限り、種類は次の各号に掲げるものとする。

(1) 論文

(2) 研究ノート

(3) 書評

(4) その他の編集委員会の認めたもの

(研究倫理の遵守)

第6条 本紀要に投稿する原稿は、長野大学研究倫理規程に則ったものであること。

(点検)

第7条 本紀要に掲載される論文等の水準を維持するために、編集委員会が点検を行う。場合によっては編集委員以外の者の意見を聞くことがある。

2 編集委員会は点検の結果に基づき、原稿の内容について執筆者に修正を求めることがある。

3 点検についての詳細は別に定める。

(掲載の可否)

第8条 編集委員会は点検結果に基づき、投稿原稿の掲載の可否を決定する。

(著作権)

第9条 本紀要に掲載された論文等の著作権の取り扱いは、以下のとおりとする。

(1) 著作権は著者に帰属する。

(2) 著者は著作物の複製権と公衆送信権の行使を大学に委託する。

(3) 本紀要に記載された論文の全部あるいは大部分を他の著作物に利用する場合には、その旨を編集委員会に申し出るとともに、出典を明記すること。また、一部を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記すること。

(論文等のネットワーク上での公開)

第10条 本紀要に掲載された論文等は、原則として電子化し、長野大学ホームページ等を通じてネットワーク上に公開する。

2 公開を希望しない場合は、寄稿申込時に所定の手続きにより、公開を拒否することができる。

(配布)

第11条 発行された紀要は専任教員、客員教員、名誉教授および非常勤講師等へ配布する。

(抜刷)

第12条 執筆者には抜刷50部を配布する。ただし、50部をこえる分については執筆者がその費用を負担するものとする。

(執筆要領)

第13条 原稿は別に定める執筆要領にしたがうこととする。

(改廃)

第14条 この規程の改廃は、全学教授会の意見を聴き、学長が行う。

附則

本規程は平成29年4月1日から施行する。

編集委員会

委員長 高橋 大輔

委員 石川 義宗, 黒木 保博, 佐藤 修哉,

望月 宏祐

2021年3月31日 発行

長野大学紀要 第42巻第3号(通巻第150号)

編集 長野大学紀要編集委員会

発行所 長野大学

長野県上田市下之郷 658-1

TEL (0268)39-0005

印刷 田口印刷株式会社

上田市殿城 425-1

TEL (0268)22-0680

BULLETIN OF NAGANO UNIVERSITY

Vol.42, No.3, March 2021

CONTENTS

Articles

- Attempt to Wellness Recovery Action Plan for University Students with Multiple Difficulties:
Survey after 6 Months
Yumiko KATAYAMA, Hiroyuki KURIHARA, Yasuko MORITA, Emi MORI 1
- The Current Long-term Employment Status and Challenges in Collaboration between Agriculture and Social Welfare:
A Case Study in the Employment of Disabled People in Agriculture
Morihito GOUDA.....11
- Flowering, fruiting, pollination, and seed dispersal in *Arisaema*:
a case study at Mt. Asama
Natsuki MAETA, Kazuaki TAKAHASHI23

Activity Report

- Current Status and Problems of Collaboration between Agriculture and Social Welfare in Ueda city:
From a Survey of the Work Continuance Support Type B Offices
Morihito GOUDA.....59

Others

- List and Modern Value of the Planning Documents for Parks, Hot Spring Resorts and Scenic Areas in Nagano Prefecture related to Seiroku Honda
Takato YOKOSEKI.....71

Texts Translated into Modern Languages of "Design Policy of the Karuizawa Resort" Stated by Seiroku HONDA in 1911	
Nanako ABE, Chiharu KITAJOH, Narumi HANZAWA, Takato YOKOSEKI	76
Texts Translated into Modern Languages of "Overview of Landscapes Survey in the Kiso" around 1913	
Kozue TAKEUCHI, Mami KATOH, Kurumi KOBAYASHI, Takato, YOKOSEKI	83
Texts Translated into Modern Languages of "Potential Landscapes and their Usage Strategies in the Kiso" in 1913	
Mami KATOH, Kurumi KOBAYASHI, Kozue TAKEUCHI, Takato YOKOSEKI	91
Texts Translated into Modern Languages of "Proposed Plan in the Suganodai Summer Resort and Shinshu-Komagatake Forest Park" in 1923	
Misaki SAITOH, Narumi KOIKE, Nanako ABE, Chiharu KITAJOH, Takato YOKOSEKI	99
Texts Translated into Modern Languages of "Proposed Design Plan in the Suzaka Town Park" in 1926	
Naho NISHIMURA, Hitotugu SHIMOJOH, Masato HUJIWARA, Takato YOKOSEKI	117
Texts Translated into Modern Languages of "Proposed Design Plan in the Komoro Park (Kaikoen)" in 1926	
Narumi HANZAWA, Naho NISHIMURA, Takato YOKOSEKI	125
Texts Translated into Modern Languages of "Proposed Improvement Plan in the Shinshu-Iiyama Castle Ruins Park" in 1927	
Yukino OHTA, Honoka KITAHARA, Honoka WATANABE, Takato YOKOSEKI	136
Texts Translated into Modern Languages of "Usage Strategies of Landscapes in the Shinshu-Yamanouchi Spa" in 1927	
Hitotugu SHIMOJOH, Masato HUJIWARA, Yukino OHTA, Takato YOKOSEKI	143
Texts Translated into Modern Languages of "Usage Strategies of Landscapes in the Tenryukyo" in 1928	
Honoka KITAHARA, Honoka WATANABE, Misaki SAITOH, Narumi KOIKE, Takato YOKOSEKI	153